公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日 時:2025年6月17日(火)16時00分~18時13分

場 所:日本天文学会 事務所(オンライン開催)

出席代議員:相川 祐理、浅井 歩**、井岡 邦仁、石川 遼子、市來 淨與、稲見 華恵*,**、 大塚 修一郎、井上 芳幸、江草 芙実、大朝 由美子、大須賀 健、大向 一行、岡本 桜子、 樫山 和己、河野 孝太郎、諏訪 雄大、高橋 慶太郎**、田中 雅臣**、谷口 大輔、土居 守、 當真 賢二、富田 晃彦、長尾 透、野村 英子、深川 美里、藤井 友香**、細川 隆史、 堀田 英之**、松本 浩典、望月 優子、百瀬 宗武、山岡 均、山崎 典子、山崎 了、 横山 央明、吉田 直紀**

欠席代議員:赤堀 卓也、石垣 美歩、井上 昭雄、井上 剛志、川端 弘治、小林 千晶、富田 賢吾、 冨永 望、林 左絵子、藤井 通子

委任状:10 通

出席理事:井田茂会長、勝川行雄庶務理事、町田真美庶務理事、鈴木竜二会計理事、酒向重行会計 理事(野村英子副会長、百瀬宗武副会長は代議員を兼任している。)

出席監事:松尾宏、山田亨

26 期日本学術会議・分科会および IAU 分科会報告のために奥村幸子氏が参加したまた、黒岩事務長代理、田口谷事務長補佐が出席した。

(*は遅れて参加、**は途中退席)

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、代議員総数 46 名のうち、開始時点での出席代議員が 35 名、委任状 10 通で 定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長 と署名人の確認がなされた。

議 長: 井田 茂 署名人: 井田 茂

また、オンライン会議システムによる出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が 一堂に会するのと同じく適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認 した。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回代議員総会(2025年3月18日)の議事録が確認された。

II. 議題

公益社団法人日本天文学会の代議員総会に提出した議題は会長が作成し、各担当理事に詳細の説明を指示した

II-1. 公益社団法人日本天文学会 2024 年度事業報告の承認(資料 4、勝川) 日本天文学会 2024 年度の事業報告について説明され、賛成多数で可決した。

II-2. 公益社団法人日本天文学会 2024 年度決算書の承認(資料 5、鈴木) 日本天文学会 2024 年度の決算書に関しての説明がされ、賛成多数で可決した。

II-3. 次期理事および監事について(資料6,勝川)

各候補者について個々に投票を行った結果、賛成多数により候補者全員を選任することが承認された。選任された理事及び監事は以下の通りである。

理事	太田 耕司	理事	大朝	由美子
理事	深川 美里	理事	新永	浩子
理事	長尾 透	理事	山村	一誠
理事	永井 洋	理事	新沼	浩太郎
理事	勝川 行雄	理事	米原	厚憲
理事	美濃和 陽典	理事	本田	充彦
理事	鈴木 竜二	理事	寺田	幸功
理事	安東 正樹	理事	和泉	究
理事	日下部 展彦			
監事	熊谷 紫麻見	監事	中村	文隆

II-4. 次期選挙管理委員について(資料7、勝川)

理事会での承認にもとづき、次期選挙管理委員会の候補者(委員長1名、副委員長1名、及び 委員3名)が提示され、賛成多数で承認された。

II-5. 次期推薦委員について(資料8、勝川)

理事会での承認にもとづき、次期推薦委員 6 名 (委員長 1 名。また 6 名中 2 名が継続)が提案された。代議員より、女性委員が少ない点に懸念が示され、次の期の改選時には男女比率にも気を配ることを要望された。 賛成多数で承認された

II-6. 監事の数の変更のための定款改訂(資料9、勝川)

令和7年公益法人制度改正により、外部理事・外部監事の選任が公益認定の基準となったこと、外部理事・外部監事の要件、天文学会の運営を知る監事2名は運営に必須であることが説明された。監事は定款で2名と定められているため、監事を2-3名とする定款の改訂が提案された。賛成多数で承認された。

II-7. 年会新システムと開催地固定化について(資料10、鈴木)

年会講演登録システムの外部委託した場合の検討の結果が提示され、紙版予稿集の廃止と支 出増となることが報告された。支出増分の負担について質問がなされ、当面は有休財産をあて るが、年会参加費または学会費の改訂を検討することが返答された。 賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 2024 年度監査報告(資料 3、松尾、山田)

2025 年 5 月 22 日に監事監査を行った。2024 年度の事業報告書および財務諸表が適正に作成されていることを確認したことが報告された。

III-2. 理事会 (2025年6月2日) の報告 (資料無、勝川)

2025 年 6 月 2 日に開催された理事会の報告がなされた。以下の報告事項に含まれていないものとして、天文月報編集委員の増員、欧文研究報告編集委員の増員について承認されたことが報告された。

III-3. 学会 CoC 相談窓口の設置に向けた提案(資料 11、富田、浅井)

2025年3月18日開催の代議員総会にて、理事より、CoC 相談窓口についての報告があり、ここで検討されていた外部の相談窓口以外に、身近な案件を気軽に相談できる内部の窓口も必要との意見が出た(3月18日代議員総会の議事録参照)。その後、代議員の有志を中心に集まり、2回の意見交換会を経て学会内部の相談窓口の設置も目指す、「学会 CoC 相談窓口を考える代議員有志の会」(代表:浅井、副代表:富田、赤堀、10名)が立ち上がったことが報告された。「有志の会」から、1)内部相談員は、「調査」、「仲裁」や「問題解決」までは行わないこと、2)相談員チームの多様性や人物を鑑みて「相談員候補」の中から理事により選任されること、3)相談員の質の担保や相談者への2次・3次被害を防ぐためにも、「相談員候補」にはハラスメント対応講座の受講を促したいこと、さらに、4)その講習受講料の学会負担、が提案された。また、ハラスメント対応講座の一例として、内閣府からの紹介講座が紹介された。代議員からは内部の相談員が相談を受け付ける範囲について等の質問があり、実例を参考にしつつ関係者と議論して手引き作成の必要性等の回答がなされた。講座受講料の学会補助については、理事会交代期であることから、次期実務理事で調整していくこととなった。「有志の会」では、内部相談窓口の建て付けを含めて今後の検討を進め、代議員総会での自由な意見交換を補完し、次期実務理事と協力して検討を進めることが申し合わされた。

III-4. 行動規範に関する細則の策定およびコンプライアンス委員会の内規の一部改訂

(資料12、野村)

行動規範に関する細則とコンプライアンス委員会の内規の改訂に関しての検討状況が報告された。代議員より、細則の文言、外部相談窓口の対応範囲、相談フローについて質問がなされ、 次回以降の理事会、代議員総会で改訂案を提示することとした。

III-5. 男女共同参画委員会からの報告(資料13、石川)

男女共同参画学協会連絡会の運営委員会を輪番制にする変更が提案されていること、新運営 方針が開始された場合、天文学会は20年に一度程度監事学協会を担当する可能性があること、 監事学協会の役割などが報告された。代議員からは、多数の男性会員も活動していることが補 足され、活動への理解と支援が要請された。

- III-6. 年会ハイブリッド開催タスクフォース報告(資料 14、野村) 年会の固定地開催検討と大宮を開催地候補にした経緯について報告された。
- III-7. 学術会議・IAU 分科会報告(資料 15、奥村)

「未来の学術振興構想」の改訂に関しての説明、IAU 分科会の活動報告、日本学術会議の次期の活動方針が検討されていることなどが報告された。

III-8. 日本天文学会の事務長について(資料無、井田)

佐藤前事務長が3月末で退職されたこと、事務長後任が一丸浩平氏に決定したことが報告された。

III-9. 夫婦別姓に関する問題提起(資料無、望月)

男女共同参画学協会連絡会が行った、夫婦別姓に関するアンケート結果が報告された。合わせて、国会で選択的夫婦別姓に関する審議が進行中であり、通称使用の範囲も広がる見込みであること、天文学会でも対応が必要であることが報告された。

[資料リスト]

- 資料1 代議員総会出欠席表
- 資料 2 公益社団法人日本天文学会代議員総会議事録(案)
- 資料3 監査報告書
- 資料 4 公益社団法人日本天文学会 2024 年度事業報告書(案)
- 資料 5 公益社団法人日本天文学会 2024 年度会計報告
- 資料6次期理事および監事について
- 資料7次期選挙管理委員会について
- 資料8次期推薦委員会について
- 資料9 監事の数の変更のための定款改訂
- 資料 10 年会新システム導入及び年会固定地開催にかかる審議依頼
- 資料 11 学会 CoC 相談窓口の設置に向けた提案
- 資料 12 行動規範に関する細則の策定およびコンプライアンス委員会の内規の一部改定
- 資料 13 男女共同参画委員会からの報告
- 資料 14 年会ハイブリッド開催タスクフォース報告
- 資料 15 26 期日本学術会議・分科会および IAU 分科会報告

2025年6月17日

議長・署名人: 井田 茂 印